

公益社団法人 日本総合書芸院

令和3年度事業計画

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

1 基本方針

公益社団法人として書道に関する人材育成、普及活動、地域奉仕活動、練習環境の整備等の事業活動を通じて、書道の普及・書道芸術の興隆を図り、文化・芸術の向上と振興発展に寄与する本院の目的に沿い、引き続き若手人材の育成、学生部の発展、地域奉仕活動の充実発展に努めます。

また、国際交流の視点からの活動の検討、公益法人として寄附文化の醸成に取り組んでいきます。

なお、会員の減少及び退会者の増加等による収入減少の現状を打開するため、財政委員会で財政改善策の検討をさらに進めていきます。

2 人材育成に関する事業

(1) 講習会・研修会

希望する参加者の文化的知識と技能の向上を図ることにより、書道の担い手となる人材の育成を目的として講習会・研修会を開催する。また、教室に通うことが困難な方へのサポート等として通信教育を行う。

① 講習会の開催

希望者は誰でも受講申込みができるよう広く一般市民に門戸を開き、ホームページ、チラシ等により不特定多数の参加を募る。2月第1週の日曜日を予定。

② 通信教育の実施

例月の機関誌の出書課題及び展覧会、段位・級位検定試験等の指導を通信（添削を含む）により行う。毎月のホームページ、機関誌等で周知を図り、広く一般からも募集する。

③ 親子で楽しむ書道体験の実施

夏休みを利用して小学校書写指導開始前の学童とその親を対象に書に親しんでもらう体験教室を行う。ホームページ、各無料メディアにより広く一般に周知募集し、親子で書道体験をしてもらう。

☆開催 令和3年7月23日（金・スポーツの日）（予定）

☆会場 鎌倉生涯学習センター（予定）

④ 書道無料体験教室

書道に興味を持つ方を対象に、無料で体験してもらう教室を随時開催する。ホームページ、各無料メディアにより広く一般に周知募集し、書道体験をしてもらう。

(2) 段位・級位検定試験の実施

書道の普及啓発と優れた書道指導人材を育成する目的により、毎年1回毛筆及び硬筆の段位・級位検定試験を実施する。五段以下は誰でも受験可能であり、ホームページ、機関誌等で広く一般に周知を図り参加を募る。

- ① 締切日 令和3年10月4日(月) 一般、学生
- ② 審査日 令和3年10月22日(金)
- ③ 発表 令和3年12月号及びホームページ
- ④ 成績通知・認定証・許証の交付
- ⑤ 新年許証授与式

新師範・新準師範・新学童師範等に対して登用の証を授与する。

☆ 日 時 令和4年1月9日(日) 午前11時から午後3時まで

☆ 会 場 KOTOWA 鎌倉 鶴ヶ岡会館(予定)

⑥ 師範講習会

師範登用に伴う付随業務として、師範として指導を行っていくための心構え、本院の歴史、教室開設等手続き、条幅書等の書作技術を実践により学ぶ講習会を開催する。

(3) 機関誌の発行等

初心者から中・上級者までの参考指導書として、毎月会員に配布する他、希望するものは誰でも随時購読することが可能で、購読することによって書芸誌備え付けの出品券を用いて競書にも参加できる。機関紙事業(競書)の一環として学生部の新年試筆を募集し、選考の上、優秀作品を学生書芸誌に掲載、展示する。年12回発行する。

毎月1回 一般部「総合書芸誌」1, 300部、
学生部「学生書芸誌」1, 400部を発行

※学生書芸では毎月の競書及び、新年試筆の優秀作品に選ばれた者に、賞状、メダル等を贈呈する。

(4) 学生訪中団の派遣

公募による日本総合書芸院展の学生部優秀賞受賞者のうち上位数名を、書道文化の源流を学ぶこと、また、中国学生との書会交流体験をすることによる国際相互理解の促進と国際交流を目的として、中国(西安)へ派遣招待する。結果について機関誌等で公表を行う。令和元年度及び令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により実施できなかったため、令和3年度に選考された学生と合同で第25次学生訪中団として派遣招待する。

(5) その他人材育成の付随業務

優れた書道指導人材の育成を目的とし、知識・技術の習得による書技向上と精神

的豊かさの修得、意欲高揚を図るため、各展覧会への出品を促進する。

① 第72回毎日書道展への出品促進

☆ 会 期 未定

☆ 会 場 国立新美術館（六本木）及び東京都美術館（上野）

② 第56回高野山競書大会への出品促進

③ 各都道府県展等への出品促進

④ 地区研修会への講師紹介

各地区、地域で開催する研修会に講師を紹介する。

3 展覧会その他普及活動に関する事業

(1) 第62回 日本総合書芸院展

出展者の書技向上、意欲高揚と観覧者の書道芸術に対する関心理解を喚起することにより、総合芸術たる書道の普及と芸術・文化の振興発展に寄与することを目的とし、公募展として学生部、一般部、U-30部を同時開催する。賞の審査については、あらかじめ選定された審査委員（外部委員を含む）により行い、受賞者・作品等についてホームページ、機関誌等で公表する。

☆ 会 期 令和3年8月5日（木）から11日（水）まで

☆ 会 場 東京都美術館

一般部・U-30部・学生部・・・1階第1展示室・第2展示室

表彰式・・・8月9日（月・振休）学生：午前11時より

一般：午後2時30分より

会 場・・・東京都美術館講

☆ 後 援 中国大使館他予定

(2) 第58回 新春書道展

観覧者の書道に対する関心を喚起し、書道の普及・振興を図ることを目的に、本院のイベント活動として開催する。出品された作品の審査、選考、作品の販売、幹旋等一切行わない。

☆ 会 期 令和4年2月下旬から3月上旬

☆ 会 場 鎌倉生涯学習センター

鎌倉市小町1-10

☆ 後 援 神奈川県教育委員会、鎌倉市、鎌倉市教育委員会、毎日新聞社、
（予定） 神奈川新聞社

☆ 新年試筆の優秀作品を展示

(3) 第41回 選抜展

本院役員、日本総合書芸院展受賞者の出品により開催し、広く一般に優れた作品に触れてもらい、書道の芸術性に関する関心理解を喚起し、書道の普及と書道文化

の振興発展を図ることを目的に本院のイベント活動として開催する。

☆ 会 期 令和3年11月19日（金）から23日（火）まで

☆ 会 場 横浜市桜木町 「ゴールデンギャラリー」及び「守玄齋」

☆ 後 援 神奈川県、神奈川県教育委員会、鎌倉市、鎌倉市教育委員会、
（予定） 毎日新聞社、神奈川新聞社

(4) 地域展の支援

会員の地域・自主活動の申請を受け、審査後名義後援使用の承認を行う。地域展は入場無料で、地元の作品を地元の方々に鑑賞してもらうことで、身近な芸術文化としての書道の普及を図ることができる。後援グループは本院機関誌、ホームページ等で紹介する。

4 地域奉仕活動に関する事業

地域社会への還元の一環として、希望する学校、社会福祉施設、病院施設、幼稚園等へ本院から指導者を派遣して無料奉仕で書道指導を行う。

5 書道用品の頒布事業

書道初心者等（継続的な購入を含む。）が適切に練習環境を整えられることを目的に、あらかじめ選定してある練習用の見本テキスト及び筆、墨、紙、硯等の書芸用品を頒布する。

6 管理運営

(1) 総会

☆ 日 時 令和3年6月6日（日）午後2時30分から

☆ 会 場 未定

(2) 理事会 年4回程度

(3) 理事・評議員合同会議 年1回

(4) 常任理事会 毎月1回